

昼は青空の顔してる
夜は星空の顔になる
宇宙はどんな気持ちでぼくらを見ているのだろう？
谷川俊太郎

展望台の望遠鏡から目はずしたら
おかあさんが手すりにもたれて 地平線を見ていた
はじめて見る おかあさんの横顔
ここにいるのに おかあさんはどこか遠くにいる
私といっしょにいるのに ひとりきりである
覚和歌子

星になんかなるんじゃないよ
ホテルみたいにかからだじゅうを光にして叫んでも
きみの目にとどくのは百年もさきらしんだ
野村喜和夫

霧の海に浮かぶ朝日
車窓からさしこむ光は暖かい
今日はどんな楽しいことがあるかな
いくつの笑顔に会えるかな
思いめぐらせアクセルをふむ
高原申生

きみの笑顔を見ていると楽しくなる
つらいときも かなしいときも
きっと笑顔になるよ
山本恵

きみの心配ごと
いっぱいあると思うけど
そんなこと気にせずに
楽しいことを思いうかべ
明日を生きよう
尾崎僚太

今日はどんなことがあるだろう
昨日はいやなことばかりだったから
明日はもっといいことがあるといいいな
西原沙織

5年後のわたしはどこにいつているだろう
はやく知りたいな
10年後 好きな仕事をしているかな
好きな仕事をしていたらいいな
10年後がまちどおしい
北畠淑恵

木っていいな
だって 私より大きいし
みんなのやくにもたつ
久富千尋

みんなでがんばれば
やくにたつことが
たくさんできるさ
できなかつたって
その心があれば十分
岡本雅広

雨がふる
すると暗くなる
でも みんなのいる教室は明るい
伊藤瑞輝

節分の行事では
え方まきを食べる
ねがいを思いながら食べる
ぼくは一年間明るく元気にいたい
もんなもそう願っているだろう
川邊康介

春がくる
暖かくなると思うと
ワクワクする
柳原沙耶

かぜひいた
インフルエンザになった
学校でうつったのかと思いながら
家で鳥の鳴く声聞いて
春を少しかんじたよ
池上真衣

四月までの楽しみだ
おばあちゃんが貝柱を買ってきた
もうすぐ春
畠中涉陽

もうすぐ四月
サクラもさいて
新学期が始まる
新しい教室
最後の一年間
畠中佳代

友達が増える
新しい一年生
仲よくなれるかな
松本未玖

友達はすてき
やさしい言葉をかけてくれる
いるだけで安心する
なんでだろう
みんなにもいるすてきな友達
谷本有未

家族はいつもいっしょに笑う
幸せは倍にして
悲しいのはマイナスにしてこそ家族
田原恵

よーいスタート
家族のみんなで雪山すべり
お父さんがすごく速い
ふとしているうちにリフトが目の前だ
ゴールしたけど結果は二位
早川輝

今年の冬は寒かった
毎日こたつにこもってた
来年はあたたかくなってほしいな
江見ころ

今年は花粉症がひどいな
毎日外に出るのがつらいな
対策しないと
マスクはかかせない
春もつらいことがたくさんある
西朋華

私は外に出るのがきらい
夏はあついし冬はさむい
でも そんな自分を変えたいな
小嶋仁実

わたしはアポロが大好き
形もかわいい
ストロベリーとチョコが
とってもおいしい
夏も冬もずっと食べたい
藤本真由

未来には食べ物はあるかな
新しい食べ物はあるかな
早く未来に行ってみたいな
阿部月歩

うちゅうってどこ？
家はあるのかな
食べ物はあるのかな
人はくらせるかな
このうちゅうには不思議がいっぱい
仙田伎佳彩

宇宙に行ってみたい
宇宙人はいるかな
大人になったらいけるかな
山本賢聖

いろいろな場所に行きたい
行ったら文化のこと歴史のことが知りたい
いつかかならず行ってみたいな
そしているいろいろなことを
多くの人に伝えたい
吉田壘

僕は社会が好きだ
六年生で歴史をならう
歴史人物に会いたい
伊藤駿汰

大人になったら社会に出る
大人の社会では何を知るのだろう
何を知って
何をかかえていくのだろう
大人の社会を考えたいな
松田大勢

大人はどうしてぼくたちをよくしかるのだろう
ぼくたちはいやな気持ちになる
でもそれだけぼくたちのことが好きなのかな
山本祐輔

子どもっていいんだ
学校に行って
いろいろな人と接することができる
そんなことができるのは今のうち
そんな日々をすごすぼくは今は幸せなんだ
金本驍

よく使う幸せって言葉どういう意味なのだろう
自分は幸せなのだろうか不幸せなのだろうか
どっちでもいや
徳山真帆

とこはい下津井節をおどりに
いろんな所に行ける
友達が増える
おどりをなっていることを
幸せに思う
土畑喜洋